



大槌・気仙川地域森林計画(案)の概要

計画期間: 令和2年4月1日～令和12年3月31日

前期: 令和2年4月1日～令和7年3月31日

後期: 令和7年4月1日～令和12年3月31日

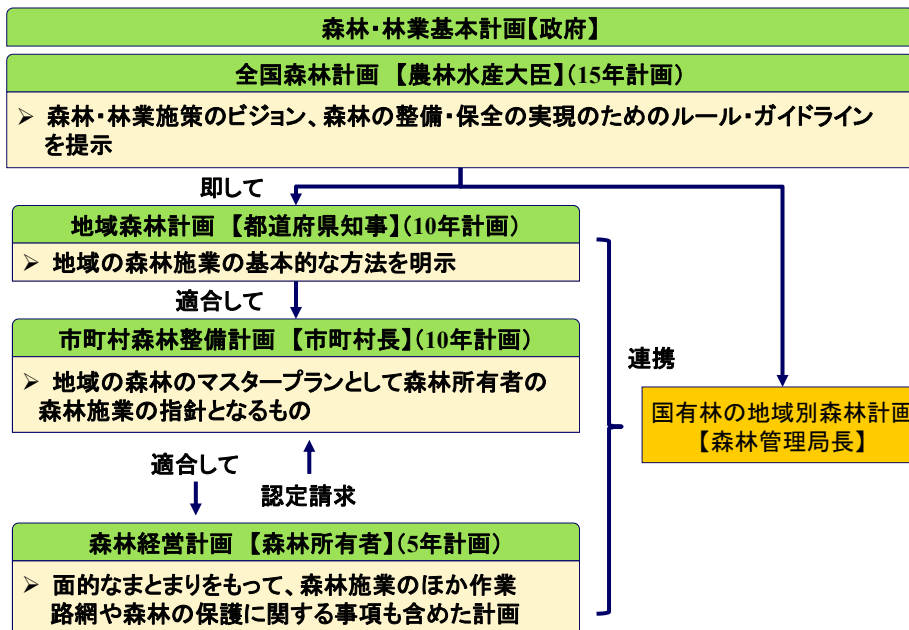


令和元年12月13日

岩手県農林水産部森林整備課

1

森林計画制度の体系



2

岩手県森林計画区位置図

樹立年度

令和元年度 大槌・気仙川森林計画区
(計画期間: R2.4.1~R12.3.31)

令和2年度 北上川上流森林計画区
(計画期間: R3.4.1~R13.3.31)

令和3年度 久慈・閉伊川森林計画区
(計画期間: R4.4.1~R14.3.31)

令和4年度 北上川中流森林計画区
(計画期間: R5.4.1~R15.3.31)

令和5年度 馬淵川上流森林計画区
(計画期間: R6.4.1~R16.3.31)

5年サイクル



3

(計画書P13)

1 計画の対象とする森林の区域

区 分		面積(ha)	比率(%)
総 数		102,943	100.0
市 町 村 内 訳	釜石市	29,318	28.5
	大槌町	8,765	8.5
	大船渡市	24,682	24.0
	陸前高田市	17,218	16.7
	住田町	22,961	22.3

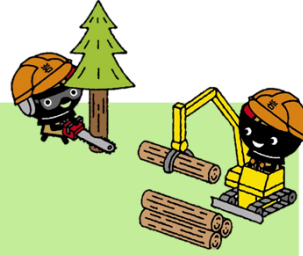
4

(計画書P5、P9、P20～22)

2 森林の立木竹の伐採に関する事項

- ◆ 立木の伐採(主伐)の標準的な方法
- ◆ 立木の標準伐期齢

- ① 森林の多面的機能の維持増進
- ② 伐採方法の多様化や長伐期化の促進
- ③ 環境に配慮した伐採
- ④ 皆伐から択伐・利用間伐への移行促進

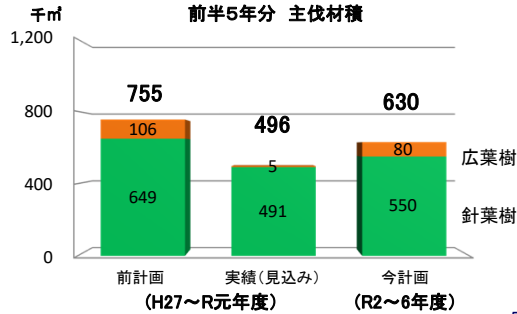


主伐材積計画量

単位 材積:千m³

	主 伐		
	総数	針葉樹	広葉樹
前期	630	550	80
後期	650	570	80
合計	1,280	1,120	160

前半5年分 主伐材積



5

(計画書P5、P10、P23～26)

3 造林に関する事項

- ◆ 人工造林の対象樹種、植栽本数、方法等
- ◆ 天然更新の方法

- ① 主伐を行った林分においては、人工造林又は天然更新による速やかな更新の促進、再造林でのカラマツ造林の奨励
- ② 伐採と再造林との一連作業の実施など、低コスト造林の促進
- ③ 広葉樹の天然更新においては、適期・適齢の更新や環境への配慮

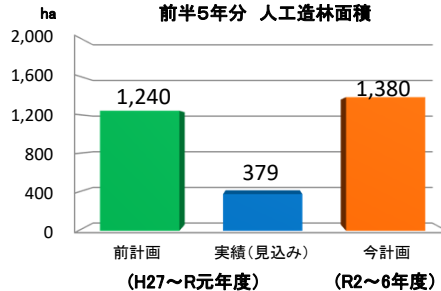


造林計画量

単位 面積:ha

	造 林 面 積		
	総 数	人工造林	天然更新
前期	2,440	1,380	1,060
後期	2,760	1,690	1,070
合計	5,200	3,070	2,130

前半5年分 人工造林面積



6

(計画書P5、P9、P27～28、P51)

4 間伐及び保育に関する事項

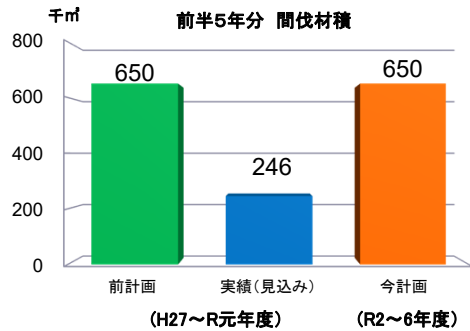
- ◆ 間伐を実施すべき標準的な林齢、方法
- ◆ 保育の標準的な方法

- ① 林地の保全や災害防止への配慮
- ② 効率的な施業の実施、搬出間伐の促進
- ③ 間伐で生じた未利用材等の木質バイオマス利用の促進



間伐計画量

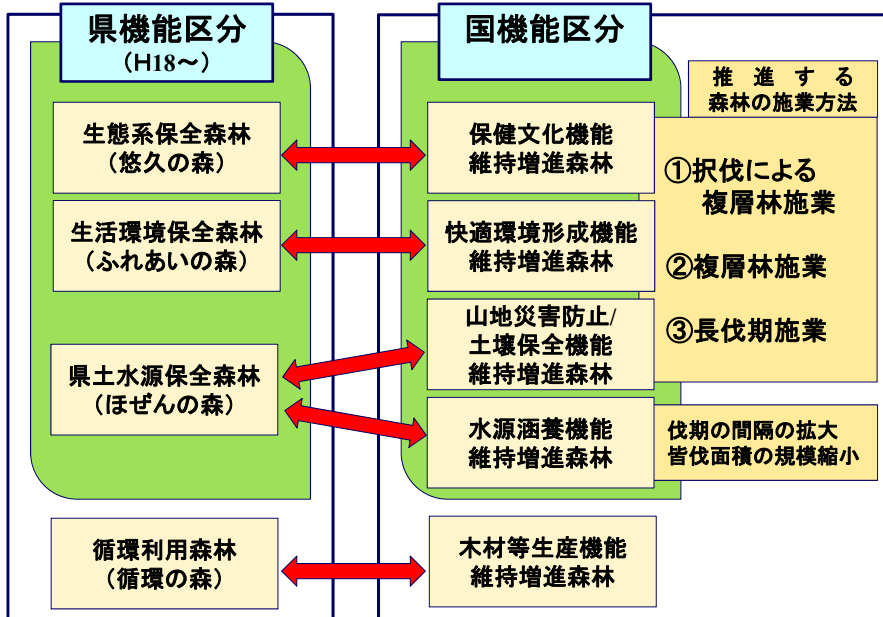
	間伐材積		
	総数	針葉樹	広葉樹
前期	650	650	—
後期	750	750	—
合計	1,400	1,400	—



7

(計画書P29～32)

5 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項



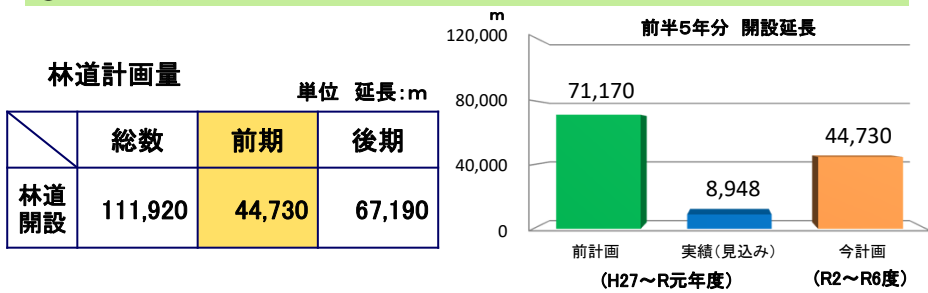
8

(計画書P5、P10、P33～34、P53～54)

6 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

- ◆ 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方
- ◆ 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システム
- ◆ 路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域の基本的な考え方
- ◆ 路網の規格・構造

- ① 自然条件や事業量のまとまり等を勘案して、自然環境や林地保全に配慮
- ② 作業システムに対応し、森林施業の優先順位に応じた整備
- ③ 市町村森林整備計画における「路網整備等推進区域」の設定
- ④ 適切な規格・構造の路網整備を図る観点で、各種指針に基づき開設



9

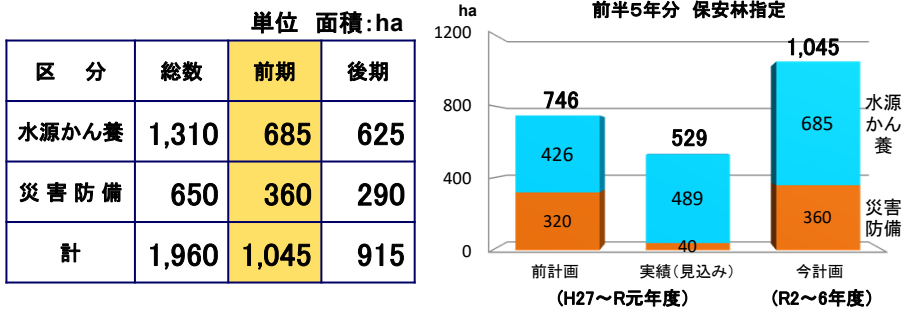
(計画書P5、P10、P43、P55～57)

7-1 保安施設に関する事項(保安林)

- ◆ 保安林の整備に関する方針
- ◆ 特定保安林の整備に関する事項

- 水源の涵養^{かん}や災害の防備のため、保安林を前期5年間で1,045ha 計画的に配備

計画期間内において保安林指定する森林の種類別計画面積



10

(計画書P5、P10、P43、P58～59)

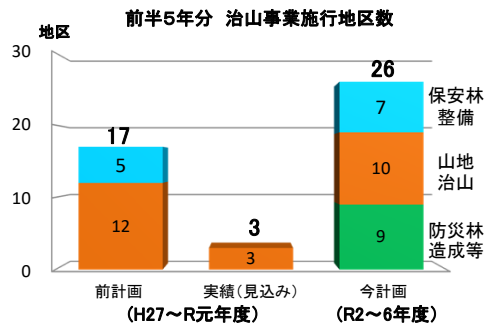
7-2 保安施設に関する事項(治山事業)

◆ 治山事業の実施に関する方針

○ 地域住民の安全・安心を確保し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、治山事業を前期5年間で26地区計画

計画期間内において実施すべき
治山事業の計画数量

区 分	総数	単 位 地 区	
		前期	後期
保安林整備	11	7	4
山地 治山	38	10	28
防災林造成等	11	9	2
計	60	26	34



11

(参考資料:編成結果)

森林資源の推移

単位 面積:ha 蓄積: m³

		平成26年編成	令和元年編成	増減	増減比率	
森林面積	立木地	針葉樹	53,181	52,363	△818	△1.54%
		広葉樹	45,057	47,342	2,286	5.07%
		計	98,238	99,705	1,467	1.49%
	未立木地	4,188	3,238	△950	△22.68%	
	合 計	102,426	102,943	517	0.51%	
蓄 積	針葉樹	21,835,034	23,164,108	1,329,074	6.09%	
	広葉樹	6,094,389	6,339,129	244,740	4.02%	
	合 計	27,929,423	29,503,237	1,573,814	5.63%	

12